２０２７年４月入学

広島大学大学院教育人文社会科学研究科（博士課程後期）

学生募集要項

人文社会科学専攻	国際平和共生プログラム 政策科学プログラム
教 育 科 学 専 攻	国際教育開発プログラム

［一般選抜］［社会人特別選抜］［フェニックス特別選抜］

２０２６年１０月

広 島 大 学

教育人文社会科学研究科アドミッション・ポリシー

教育人文社会科学研究科では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養，人文科学，社会科学や教育科学及び関連する学問領域における卓越した知識と研究能力とともに，多様性に関する深い理解と国際的なコミュニケーション能力を身に付けて，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養，人文科学や社会科学及び関連する学問領域における卓越した知識と研究能力とともに，多様性に関する深い理解と国際的なコミュニケーション能力を身に付けて，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育人文社会科学研究科は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

人文社会科学専攻では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養，人文科学や社会科学及び関連する学問領域における卓越した知識と研究能力とともに，多様性に関する深い理解と国際的なコミュニケーション能力を身に付けて，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養，人文科学や社会科学及び関連する学問領域における卓越した知識と研究能力とともに，多様性に関する深い理解と国際的なコミュニケーション能力を身に付けて，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

教育科学専攻アドミッション・ポリシー

教育科学専攻では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養とともに，教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人

②幅広い教養とともに，教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育科学専攻は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

国際平和共生プログラムアドミッション・ポリシー

国際平和共生プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養と共に，平和学，国際関係論，国際法学，文化人類学，記憶学，地域研究などのいずれかに関連する学問領域，あるいはそれらの融合領域における専門的知識と卓越した研究能力を身に付け，多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために，国際人としての共感を持って，多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ，連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人

②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し，企業，国際機関，国際協力機関，国際協力NGO，地元自治体，高等教育機関と研究機構などでの経験を踏まえ，大学院での学修や研究活動を通して，先端的な研究者や卓越した高度専門的職業人としての資質，能力の獲得を目指す人

国際平和共生プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

政策科学プログラムアドミッション・ポリシー

政策科学プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い関心を持って，各国が直面する多様でグローバルな諸問題に挑みたい人

②健全な社会経済発展を先導する社会科学研究を志向する人

③国際人としての共感を持って，多様な人々と協働できる人

政策科学プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

国際教育開発プログラムアドミッション・ポリシー

国際教育開発プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

①幅広い教養と共に，教育学に関連する学問領域，あるいはその融合領域における高度な専門的知識と卓越した研究能力を身に付け，多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために，国際人としての共感を持って，多国籍の人々とコミュニケーションを取れ，連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人

②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し，企業，国際機関，国際協力機関，国際協力 NGO，地元自治体などでの経験を踏まえ，大学院での学修や研究活動を通して，先端的な研究者や高度専門職業人としての資質，能力の獲得を目指す人

国際教育開発プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

※広島大学は，2020 年1 月からキャンパス内全面禁煙です。
（霞キャンパスでは，2018年4月から全面禁煙となっています）。
※広島大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では，被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学機会の確保を図るため，2026 年度に実施する本学の入学者選抜において，入学検定料の免除措置を実施することとしましたので，お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は，出願前に必ず以下の **8 問い合わせ先**までご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

2026 年度に実施する本学の学部，大学院及び専攻科入試
（再入学，転学及び編入学に係る選考を含みます。）

2 措置内容

入学検定料の免除

※ 入学試験成績の開示に係る手数料も，免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

(1) 2019 年 8 月 28 日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は，当該災害救助法適用日から 5 年を経過する日までの間に出願期間の最終日が設定されているものに限ります。

4 免除の対象者

3 免除の対象となる災害において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で，次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊，大規模半壊又は半壊した場合
(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は，次の内閣府ホームページでご確認いただけます。
https://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に **8 問い合わせ先**に連絡した後，所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。
なお，この場合は，出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロード）
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058
(2) り災証明書（写し可） （上記 4 の(1)に該当する方）
(3) 死亡又は行方不明を証明する書類（写し可） （上記 4 の(2)に該当する方）

7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載の PDF ファイルを参照してください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/239967/menjo_2024.pdf

8 問い合わせ先

教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）
〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号
TEL：(082)424-7117

Ⅰ．プログラム及び募集人員

本学生募集要項は，国際平和共生プログラム，政策科学プログラム，国際教育開発プログラムに関する試験日程，選抜方法等の詳細を掲載したものであり，本学生募集要項の入学者選抜における募集人員は，下表の「募集人員」欄のとおりです。

2027 年 4 月入学

専攻	プログラム	入学者選抜の区分	募集人員	問合せ・出願書類提出先
人文社会科学	国際平和共生	一般選抜 フェニックス特別選抜	若干名	〒739-8529　東広島市鏡山一丁目 5 番 1 号 国際協力学系支援室 TEL：(082)424-7117 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
	政策科学	一般選抜 フェニックス特別選抜		
教育科学	国際教育開発	一般選抜 社会人特別選抜 フェニックス特別選抜		

Ⅱ．出願資格

各入学者選抜の出願資格は，次のとおりです。

１．一般選抜

◇次の各号のいずれかに該当する者又は 2027 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。

◇出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は，事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者

(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(5) 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）

① 日本の大学を卒業した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

(8) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

２．社会人特別選抜

◇出願時において，研究機関，教育機関，企業等に在職し，入学後も引き続きその身分を有する者で，次の各号のいずれかに該当するもの又は2027年3月31日までに取得見込みのもの。ただし，所属長に受験を承認された者に限る。

◇出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は，事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(5) 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者
(6) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
① 日本の大学を卒業した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
(8) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

３．フェニックス特別選抜

◇学位取得を目指す概ね60歳以上の者で，次の各号のいずれかに該当するもの又は2027年3月31日までに取得見込みのもの。

◇事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(5) 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者
(6) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
① 日本の大学を卒業した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
(8) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

出願資格事前審査について

「一般選抜」及び「社会人特別選抜」の出願資格(7)及び(8)並びに「フェニックス特別選抜」による出願者については，次のとおり事前審査を行います。
事前審査の対象者は，教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）へ申請書等の用紙を請求してください。

（1）事前審査書類提出期間

2026 年 11 月 30 日から 12 月 4 日　17 時まで（必着）

（2）事前審査提出書類

◇各証明書は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は，原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい。）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。
◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は，合格・入学を取り消します。

選抜，出願資格の種類		必要提出書類	提出方法
一　般　選　抜	出願資格(7)・(8)	①事前審査申請書（所定様式を使用） ②履歴書（所定様式を使用） ③修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用） ④最終学歴の学業成績証明書 ⑤最終学歴の卒業証明書	①・②・③→データ（Word）をE-mailで送付 ④・⑤→スキャンデータ（PDF）を E-mail で送付後，原本を郵送
社会人 特別選抜	出願資格(7)・(8)	①事前審査申請書（所定様式を使用） ②履歴書（所定様式を使用） ③修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用） ④最終学歴の学業成績証明書 ⑤最終学歴の卒業証明書	①・②・③→データ（Word）をE-mailで送付 ④・⑤→スキャンデータ（PDF）を E-mail で送付後，原本を郵送
フェニックス 特別選抜	出願資格(7)・(8)	①事前審査申請書（所定様式を使用） ②履歴及び志望理由・活動報告書（所定様式を使用） ③修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す本人による説明書（A4・2 枚程度，所定様式を使用）④最終学歴の卒業証明書	①・②・③→データ（Word）をE-mailで送付 ④→スキャンデータ（PDF）を E-mail で送付後，原本を郵送
	出願資格(7)・(8)以外	①事前審査申請書（所定様式を使用）②履歴及び志望理由・活動報告書（所定様式を使用）	①・②→データ（Word）を E-mail で送付

（注）中国（台湾，香港，マカオを除く。）の大学院を修了した，あるいは修了見込みの者は，**Ⅲ. 出願手続**の**4. 出願書類**の注1）を参照すること。

（3）事前審査書類提出先

I. プログラム及び募集人員の**問合せ・出願書類提出先**を参照してください。

○郵送で提出する書類（各証明書の原本）

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし，封筒表面に**「出願資格事前審査申請書在中」と朱書き**してください。

○E-mailで提出する書類

件名に「**出願資格事前審査書類の提出**」と表記の上，Word・PDF等の電子データを E-mailに添付し送信してください。また，必ず提出書類ごとに電子データを別けて，正しいファイル名称を付してください。

ファイル名称の例…「① 事前審査申請書」など

（4）事前審査結果の通知

事前審査結果については， 2026年12月10日に通知します。

Ⅲ．出願手続

１．出願方法

インターネット出願及び出願書類の提出により出願できます。

① インターネットにより，**志望情報等を入力**する。

② **入学検定料 30,000 円を支払う。**（国費外国人留学生，本学大学院博士課程前期を 2027 年 3 月修了予定の者及び入学検定料免除の特例により出願する者を除く）

③ **出願書類を送付**する。

（注意）インターネット出願は，インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途，出願書類等が所定の期日までに到着するように E-mail で送り，郵送指示のある証明書は原本を持参又は書留で郵送する必要があります。

２．出願期間

上記出願方法の①，②，③のすべてを期間内に終える必要があります。

2027 年 1 月 5 日から 1 月 13 日　17 時まで（必着）

３．インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

インターネット出願・UCAROヘルプデスク（日本語対応のみ）
受付時間：【4/11～8/31】10:00～13:00，14:00～18:00（土日祝日を除く。）
【9/1～3/31】10:00～18:00（12/30～1/3を除く。）
電話番号：03-6634-6494

○入試に関する不明点等は，**Ⅰ．プログラム及び募集人員**の**問合せ・出願書類提出先**に問い合わせてください。
受付時間 8:30から17:00まで（土日祝日を除く）

出願期間内に，次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi

Step 2:UCAROログイン画面から「新規会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。
UCAROについては，以下のURLを参照してください。
https://www.ucaro.net/

Step 3:（入学検定料が免除される出願のみ該当）アカウントを入力

本研究科から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って，氏名，住所，電話番号，メールアドレス等を入力してください。

※ 入力いただいた個人情報は，入学試験の実施及び選考，合格の通知及び発送，入学手続書類の送付，入学前後の案内の送付，入試統計データの作成，学生証の作成，学籍データの作成，入学検定料の収納等で利用しますので，正確な情報を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。

※出願時にアップロードされた写真は，受験時の本人確認のため使用するほか，入学後の学生証及び本学の教務システムでも卒業（修了）まで使用します。このため，入学後にも使用可能な写真のアップロードを推奨します。なお，写真アップロード後の差し替えはできません。

入学後に学生証の内容(写真や姓名の漢字表記)を変更する場合は，1,000 円の手数料が必要です。

Step 6: 入学検定料（30,000 円）の支払い

入学検定料を納入する方法を次の①又は②の中から選択し，「決済サイトに進む」をクリックしてください。

①クレジットカード

②コンビニエンスストア，金融機関 ATM【Pay-easy】，ネットバンキング

（注意）

・入学検定料の他に，1 回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料は，志願者負担となります。（インターネット出願システム手数料の金額は出願時に表示されます。）。

・出願受付後はいかなる理由があっても，既納の入学検定料は返還しません。

なお，次の（1），（2）の場合は，既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので，「出願番号」，「ふりがな」，「氏名」，「電話番号」，「住所」，「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上， 受験年度の 2 月末日までに**I．プログラム及び募集人員**の**問合せ・出願書類提出先**に郵送してください。

ただし，いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。

（1）出願書類を提出しなかった，又は受付されなかった場合

（2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号（6桁）が表示されるので，メモしておいてください。（登録されたメールアドレスに自動送信される「出願完了のお知らせ」メールにも出願番号が記載されていますので，そちらでも確認可能です。）

Step 8: 出願書類の提出

提出又は送付先は，**I．プログラム及び募集人員**の**問合せ・出願書類提出先**をご覧ください。

○持参・郵送する書類（各証明書の原本）

出願書類は所定の期日までに到着する必要があります。

出願書類を持参する場合は，出願期間の8:30から17:00まで受け付けます。ただし，土曜日，日曜日及び祭日は受け付けません。

郵送する際は必ず書留郵便とし，封筒表面に**「教育人文社会科学研究科〇〇プログラム願書在中」**と朱書きの上，郵送してください。

○E-mailで提出する書類

件名に「**出願書類の提出（教育人文社会科学研究科）**」と表記の上，Word・PDF等の電子データを E-mail に添付し送信してください。また，必ず提出書類ごとに電子データを別けて，**４．出願書類**に記載されているファイル名を付してください。

ファイル名称の例…「3. 研究計画書」など

４．出願書類

◇出願書類の所定様式については，ホームページからダウンロードしてください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs/d-kokusainyuushi

◇インターネット出願をした後，次の書類を一括して，出願期間内に**I．プログラム及び募集人員**の**問合せ・出願書類提出先**へ提出してください。なお，**出願資格事前審査で提出済の場合は，再提出不要**です。

◇各証明書（語学検定試験の成績証明書を除く。）は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は，原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい。）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は，合格・入学を取り消します。

	提出書類	提出該当者	摘　　要	提出方法	
				郵送	E-mail
1	履　歴　書	全員	A4・1ページ程度 所定様式を使用		○ Word
2	試験科目届	国際教育開発プログラムの志願者 （フェニックス特別選抜志願者を除く。）	所定様式を使用		○ Word
3	研究計画書	全員	具体的な研究内容について日本語又は英語で作成したもの 所定様式を使用		○ Word
4	修士論文の写し	修士課程（博士課程前期）修了者	英語又は日本語以外の言語によるものの場合は，英語又は日本語による要約を併せて提出すること。		○ PDF
5	修士論文の概要	全員	修士の学位取得後，研究実績のある者は，修士論文の概要にかえて研究経過報告書を提出することができる。なお，修士の学位未取得者は，研究経過報告書を提出すること。 A4・4ページ程度 所定様式を使用		○ Word
6	論文業績	業績のある者	公表された論文の業績一覧及び代表的な論文 ※英語又は日本語以外の言語によるものの場合は，英語又は日本語による要約を併せて提出すること。		○ PDF
7	学業成績証明書	全員 （フェニックス特別選抜志願者を除く。）	出身大学長（研究科長）が作成したもの。 ※学業成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は，別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。	○	○ PDF
8	修士課程（博士課程前期）修了証明書 又は 修了見込証明書	全員	出身大学長（研究科長）が作成したもの。 ※外国の大学院を修了した者は，証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国（台湾，香港，マカオを除く。）の大学院を修了した，あるいは修了見込みの者は，注1）を参照すること。	○	○ PDF
9	受験承諾書	大学院在学者	現に他の大学院博士課程後期に在学している者は，本学大学院受験についての在学大学長（研究科長）の承諾書を提出すること。		○ PDF
		民間企業・国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職する者	現に民間企業・国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職している者で，現職のまま本学大学院に入学しようとするものは，本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること。		○ PDF

	提出書類	提出該当者	摘　　要	提出方法	
				郵送	E-mail
10	日本国政府 （文部科学省） 奨学金証明書	国費外国人留学生	国費外国人留学生（日本国政府奨学金）は必ず提出すること。	○	○ PDF
11	語学検定試験の成績証明書	全員 （フェニックス特別選抜志願者は除く。）	入学試験日から原則過去2年以内に受験したTOEFL等の英語検定又は日本語検定試験等 （英語を第一言語とする者は提出不要）		○ PDF
12	在留カードの写し	外国籍の志願者	出願の時点で日本国内に在住する外国籍の志願者は必ず提出すること。（両面のコピー）		○ PDF
13	パスポートの写し	外国籍の志願者	出願の時点で日本国内に在住する外国籍の志願者は必ず提出すること。（氏名と顔写真のページ）		○ PDF

注１）中国（台湾，香港，マカオを除く。）の大学院を修了した，あるいは修了見込みの者は，以下すべての書類をE-mailで提出すること。

既卒者	a. 毕业证书 及び 硕士学位证书（原本は不要） b. 学歴証書電子登録票 (教育部学历证书电子注册备案表)
修了見込者	a. 修了見込証明書 b. オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

上記のうち，書類bは中国教育部認証システム(中国高等教育学生信息网 https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp) より取得すること。なお，発行手数料は志願者が負担すること。また，提出時点でWeb認証の有効期限が1か月以上残っていることを確認すること。

注２）日本語又は英語の検定試験成績証明書を提出できない場合にのみ，大学において英語による教育課程を卒業した旨の大学発行の証明書提出で替えることができる。

注３）提出書類のうち英語又は日本語以外によるものは日本語又は英語の訳を付し，原本と訳の両方を提出すること。

注４）GRE(General Test)を受験した者は，成績証明書を提出してください。（提出は必須ではありません。）
※成績証明書は，出願期間内にETSより直接広島大学に送付されるよう手配してください。（機関コード：2358）ただし，受験者本人へ送付された成績証明書も受け付け可とします。

５．その他

(1) 受付後の記載内容の変更は，認めません。
(2) 原則として出願書類は返還しません。
(3) 出願受付後は，いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。
(4) 出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別，その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は，学生支援関係（奨学金申請，授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。なお，個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，コンピュータ処理をするため，関連業務を外部の事業者に委託することがあります。
(5) 受験科目等で疑問がある場合は，あらかじめ教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）に相談してください。
(6) 出願を希望する者は，志望する研究分野の教員にあらかじめ相談しておくことが望ましいです。なお，志望する教員と連絡がとれない場合は，**I.プログラム及び募集人員**の**問合せ先・出願書類提出先**まで連絡してください。
(7) 受験票及び受験者心得は，出願手続完了後，2027年1月27日正午（予定）から，UCAROで印刷できるようになります。UCAROから受験票を印刷した上で，試験当日に持参してください。受験票が印刷できない場合は，**Ⅰ.プログラム及び募集人員**の**問合せ・出願書類提出先**に問い合わせてください。

Ⅳ．受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は，次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）に提出し，相談してください。

１．相談の時期

2026年11月30日から12月4日まで

２．申請書の記載内容

(1)　志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
(2)　出身大学名，出願予定のプログラム
(3)　障害等の種類・程度（現に治療中の者は，医師の診断書を添付してください。）
(4)　受験上の配慮を希望する事項
(5)　修学上の配慮を希望する事項
(6)　出身大学でとられていた特別措置
(7)　日常生活の状況

Ⅴ．入学者選抜方法

１．学力検査

研究意欲，専門分野の知識・応用力，英語の語学力，課題解決能力，適性等に関する評価を行うため，学力検査は，書類審査，筆記試験又は口述試験を組み合わせて実施するものとし，プログラム及び入学者選抜の区分により，次のとおり行います。

(1)　国際平和共生プログラム

［一般選抜］
書類審査（学業成績証明書，研究計画書その他の出願書類）及び口述試験について行います。
［フェニックス特別選抜］
書類審査（履歴及び志望理由・活動報告書その他の出願書類）及び口述試験について行います。

(2)　政策科学プログラム

［一般選抜］
筆記試験（研究計画書の内容をもって筆記試験の代わりとして判定）及び口述試験（出願書類の評価を含む。）について行います。
［フェニックス特別選抜］
口述試験（出願書類の評価を含む。）について行います。

(3)　国際教育開発プログラム

［一般選抜］・［社会人特別選抜］
筆記試験及び口述試験（出願書類の評価を含む。）について行います。
［フェニックス特別選抜］
口述試験（出願書類の評価を含む。）について行います。

２．合否判定方法及び採点評価基準

(1)　合否判定方法

(2)採点評価基準に従い，学力検査（書類審査，筆記試験，口述試験）の結果を踏まえ，総合的に判定します。

(2)　採点評価基準

1)　筆記試験
原則として全試験科目の総合点の 6 割以上を合格とします。なお，各試験科目の配点は以下のとおりとします。

種類 / 科目	一般選抜	社会人特別選抜
専　門　科　目	100 点×2 科目	100 点×1 科目
総　合　点	200 点	100 点

※ 政策科学プログラム

「研究計画書」の内容をもって，筆記試験の代わりとして判定します。

配点：100 点（一般選抜）

2) 書類審査 及び 口述試験

書類審査及び口述試験の判定は，以下の 3 段階により行い，C を不合格とします。

A	非常に優れている（志望プログラムの入学に最も適当であると認められるもの）
B	優れている（志望プログラムの入学に適当であると認められるもの）
C	劣っている（志望プログラムの入学に不適当であると認められるもの）

3) 総合判定

総合判定は，合格又は不合格とし，書類審査又は筆記試験（フェニックス特別選抜を除く。）及び口述試験の両方に合格した者を合格とします。

国際教育開発プログラム筆記試験科目

選抜の区分 / 試験科目	一般選抜，社会人特別選抜		
	プログラム	科　　目	指導教員
専門科目	国際教育開発	スポーツ教育開発論	齊藤　一彦
		民族言語教育論	佐藤　暢治
		理科教育開発論	清水　欽也
		数学教育開発論	（選考中）
		特別支援教育・インクルーシブ教育カリキュラム開発	川合　紀宗
		教育開発計画研究論	谷口　京子
		人の学習に関する心理学	藤木　大介
		シティズンシップ教育開発論	中矢　礼美
		教育人材開発論	牧　　貴愛
		途上国の比較教育学	日下部　達哉
		ダイバーシティ・インクルージョン教育研究論	櫻井　里穂
		ICT活用教育論	谷田　親彦
		グローバルコミュニケーションと国際教育	田北　冬子

※「一般選抜」は2科目，「社会人特別選抜」は1科目を選択すること。

３．学力検査等実施日時

［一般選抜］

2月15日筆記試験 （専門科目）	国際教育開発プログラム 9：30～11：30
2月16日口述試験	国際平和共生プログラム，政策科学プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～

［社会人特別選抜］

2月15日筆記試験 （専門科目）	国際教育開発プログラム 9：30～10：30
2月16日口述試験	国際教育開発プログラム 9：30～

［フェニックス特別選抜］

2月16日口述試験	国際平和共生プログラム，政策科学プログラム，国際教育開発プログラム 9：30～

※筆記試験に関する注意事項

1) 筆記用具（鉛筆，シャープペンシル，ペン，消しゴム）及び時計（計時機能だけのもの）のみ使用可能です。携帯電話等の電子機器類は，試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切ってかばん等に入れておいてください。上記以外のものを机上に置いている場合，また携帯電話等の電子機器類をかばん等にしまわず，身に着けていたり手に持っていたりする場合は不正行為と判断することがあります。

2）カンニング（試験の科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）及び試験時間中に使用してはいけないものを使用する等の不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，本学の当該試験日程で受験したすべての科目の成績を無効とします。

3) 試験開始 15 分前には試験室に入室・着席し，監督者の指示に従ってください。

※口述試験について，修士修了者は，修士論文，研究成果及び研究計画に関する試問，修士修了以外の者は，研究成果及び研究計画に関する試問を行います。

※口述試験の試験時間等の詳細については，事前にE-mailにより指示します。

※不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
また，不正行為が合格通知後や入学後に判明した場合，合格及び入学許可を取り消します。この場合，既納の入学検定料，入学料，及び授業料等は返還しません。

４．合格者の発表

2027年2月26日　正午（予定）

合格者には「合格通知書」及び「入学案内」を送付します。
また，教育人文社会科学研究科ホームページ（https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs）にも掲載します。ただし，情報提供の一環として行うものであり，公式の合格発表は合格通知書の郵送となります。
なお，本学掲示板による掲示は行いません。また，電話/E-mail等による問合せには応じません。

Ⅵ．入学手続

１．入学手続期間

3月上旬の指定する期間に入学手続を行うことになります。詳細については2月下旬に別途お知らせします。

２．納入金

入学料　　282,000円
授業料（年額）　535,800円

(1) 金額は2026年4月現在のものです。入学時あるいは在学中に納入金の改定が行われた場合は，改定後の金額を納入することになります。
(2) 入学料は入学手続時，授業料は入学後に納入することになります。納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料・授業料の免除及び徴収猶予の申請方法については別途お知らせします。
(3) 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

３．注意事項

(1) 合格後あるいは入学後，提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合，合格・入学を取り消します。
(2) 修了見込で出願して合格した者が，入学日までに修了できなかった場合，入学を取り消します。

４．こども性暴力防止法に関する留意事項及び同意について

「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」により，教員免許の資格取得に必要な教育実習・介護等体験，インターンシップ，ボランティア活動等に参加する学生は，性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。本学では，上記制度の趣旨に鑑み，入学に際し，関連事項についてあらかじめ同意を得ることとしています。留意事項及び同意に関する詳細については，次のホームページを参照してください。
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/koseibouhou.html

Ⅶ．大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

本研究科では，社会人等に対する教育について，修学上の便宜を図るため大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置により，次のとおり行います。
平日の夜間（18時40分から20時10分まで）又は夏季等の長期休業期間中の一定期間（集中講義）に授業を開講します。

Ⅷ．長期履修制度について

職業を有している者，又は本学フェニックス入学制度により入学した者等を対象として，標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。
この制度による授業料は，標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。最長履修期間は，博士課程前期が4年間，博士課程後期が6年間です。
なお，この制度の詳細については，本研究科に照会してください。

２０２６年度広島大学学生募集に伴う試験成績（個人情報）の開示について

個人に関する入試情報（以下「個人情報」という）は，2026 年度学生募集に伴う本研究科の大学院入試（一般選抜，社会人特別選抜）を**受験した者（以下「開示申請者」という）に限り開示します。**

項目	開示内容 (内容はプログラムと選抜により異なる。)
試験成績	得点　試験科目別の得点 評価　口述試験・書類審査の段階評価

開示に関する手続の流れ

（１）「広島大学大学院教育人文社会科学研究科入試情報開示申請書」を次のいずれかの方法で入手してください。

①教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）へメールにて請求してください。電子媒体をお送りします。（koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp）

②返信用封筒（本人の住所・氏名を明記し，定形郵便物 50ｇまでの切手を貼った定形封筒（長形 3 号封筒(120mm×235mm)）を同封し，「入試情報開示申請書請求」と明記の上，教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）宛て請求してください。

（２）以下の書類を同封の上，開示請求期間内に直接又は郵送により申請してください。

①必要事項をすべて記入した「広島大学大学院教育人文社会科学研究科入試個人情報開示申請書」

②広島大学大学院教育人文社会科学研究科受験票（開示決定通知書送付の際，同封して返却します。）なお，紛失等により提出できない場合は，運転免許証等の身分証明書のコピーを添付してください。

③返信用封筒（長形 3 号封筒(120mm×235mm)）に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を明記し，定形郵便物 50ｇまで及び簡易書留分の切手を貼ったもの。）

なお，申請書等に不備があるときは，修正を求めることがあります。

（３）本研究科が申請を受理した日から 30 日以内に，「広島大学大学院教育人文社会科学研究科入試情報開示決定通知書」を開示申請者本人へ簡易書留により通知します。

開示請求期間

4 月入学については，入学試験を実施した年度の翌年度の 4 月 15 日から 5 月 31 日 まで，10 月入学については，入学試験を実施した年度の 10 月 15 日から 11 月 30 日 まで

＜試験成績（個人情報）の開示に関する申請及び問合せ先＞	
広島大学大学院教育人文社会科学研究科 （国際協力学系支援室）	〒739-8529　東広島市鏡山 1 丁目 5 番 1 号 Tel　082-424-7117 E-mail koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

個人情報の保護に関する法律に基づく開示請求及び問合せ先等

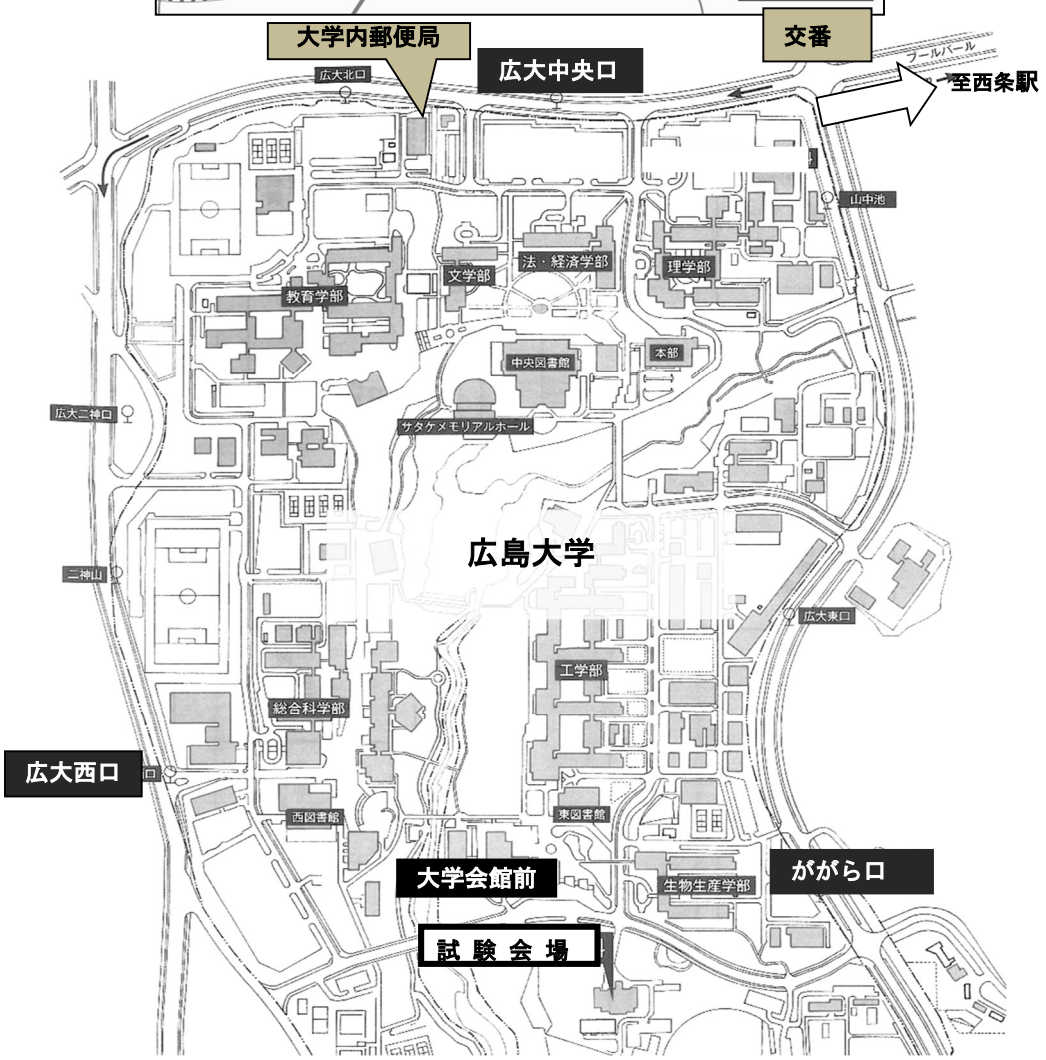
上記の入試個人情報の開示のほか，個人情報の保護に関する法律に基づく個人情報の開示請求制度により行うこともできます。

本制度の詳細は，本学ホームページ「トップページ」→「法人情報」 →「個人情報保護」 →「個人情報の開示請求制度」（https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/information_disclosure/personal_info）を参照ください。

＜開示請求及び問合せ先＞	
広島大学 総務グループ	〒739-8511　東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号 Tel　082-424-5014

試 験 場 位 置 図





[試験場への経路]

広島大学大学院 IDEC 研究棟 (東広島市鏡山一丁目 5 番 1 号)

JR 西条駅前からバス「広島大学」行
新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行

} 「大学会館前」下車 (所要時間約20分)

博士課程後期 Doctoral Course
教員一覧 List of Members

人文社会科学専攻 Division of Humanities and Social Sciences
【国際平和共生プログラム International Peace and Co-existence Program】

職名 Position	氏　　名 Name	研究内容 Research Theme
教授 Professor	片柳　真理 KATAYANAGI, Mari	紛争解決論，平和構築，平和維持，紛争予防，国際人権法 Conflict resolution, Peacebuilding, Peacekeeping, Conflict prevention, and International human rights law
教授 Professor	川野　徳幸 KAWANO, Noriyuki	平和学，原爆被爆被害研究，グローバル核被害研究 Peace Studies, Studies on A-Bomb and Global Nuclear Disasters
教授 Professor	関　恒樹 SEKI, Koki	開発・社会政策・平和の文化人類学的研究，フィリピンを中心とした東南アジア地域研究 Cultural Anthropology of Development, Social Policy, and Peace, Area Studies of the Philippines and Southeast Asia
教授 Professor	長坂　格 NAGASAKA, Itaru	社会文化人類学，移住研究，東南アジア研究 Social and cultural anthropology, Migration studies, Southeast Asian Studies
准教授 Associate Professor	掛江　朋子 KAKEE, Tomoko	紛争解決論，国際法に関する研究 Studies on Conflict Resolution and International Law
准教授 Associate Professor	シマンガン　ダリア　コリャード SIMANGAN Dahlia Collado	国際関係論，平和構築理論，国連平和構築活動，平和と持続可能性の連携，人新世 International Relations Theory, Peacebuilding Theory, United Nations Peacekeeping Operations, Peace-Sustainability Nexus, Anthropocene
准教授 Associate Professor	ファン・デル・ドゥース　ルリ VAN DER DOES, Luli	言説と表象の分野横断型実証研究，記憶学 （紛争と平和），原爆ひばく体験継承，応用リスク論 Interdisciplinary Empirical Study of Discourse and Representations, Memory Studies (Conflict and Peace), Heritage of the Atomic-Bomb Experiences, Applied Risk Theory
准教授 Associate Professor	戸崎　洋史 TOSAKI, Hirofumi	軍備管理・軍縮・不拡散，核戦略・抑止論，平和・安全保障 Arms control, Disarmament and Non-proliferation, Nuclear strategy and deterrence, Peace and security
准教授 Associate Professor	田口　陽子 TAGUCHI, Yoko	文化人類学，ケアと関係性，人格とモラリティ，南アジア研究 Cultural anthropology, Care and relations, Personhood and morality, South Asian studies

【政策科学プログラム Policy ScienceProgram】

職名 Position	氏　　名 Name	研究内容 Research Theme
教授 Professor	金子　慎治 KANEKO, Shinji	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究 Study on Sustainable Development for Developing Countries Environmental Policy Studies in Asia
教授 Professor	シャリフィ アユーブ SHARIFI Ayyoob	都市計画及び都市政策，環境計画及び環境管理，気候政策，持続的な都市 Urban Planning and Policy Development, Environmental Planning and Management, Climate Policy, Sustainable Cities
教授 Professor	高橋　与志 TAKAHASHI, Yoshi	人的資源開発・管理論，技術経営論，中小企業経営論 Human Resource Development / Management, Management of Technology, Management of Small and Medium-sized Enterprises
准教授 Associate Professor	ジョシ ニラズ プラカス JOSHI, Niraj Prakash	気候変動，農業技術，農業経済，農村開発に関する研究 Climate change, agricultural technology adoption, agriculture production economics, poverty and rural development in developing country
准教授 Associate Professor	近藤　雅征 KONDO, Masayuki	気候変動対策評価，温室効果ガス動態解析，熱帯地域における土地利用変化研究，地球の気候調整に関する理論研究 モデルシミュレーション，リモートセンシング，さまざまな統計データを駆使し，上記の研究を国，亜大陸，全球などの広域スケールで行っている。 Evaluation of climate change countermeasures, analysis of greenhouse gas dynamics, land use change research in tropical regions, and theoretical research on Earth's climate regulation.
准教授 Associate Professor	カロ　バーネット ヨハン CARO-BURNETT Johann	政治経済，投票行動，国際協定，平和と紛争 行動経済学，実験経済学，開発経済学 Political economy, voting behavior, international agreements, peace and conflict Behavioral economics, experimental economics, development economics
准教授 Associate Professor	陳 姝凝 CHEN Shuning	持続可能な成長と福祉の評価（包括的富を含む），開発経済学：資源利用と環境政策を統合した分析，環境・資源経済学：持続可能性と政策評価 Assessment of sustainable growth and welfare (with Inclusive Wealth accounting), Development economics: integrating resource use and environmental policy, Environmental and resource economics: sustainability and policy evaluation
准教授 Associate Professor	ハーン　グラム ダスタギール KHAN Ghulam Dastgir	開発政策の社会・経済的インパクト評価 Social and Economic Impact Assessment of Development Policies
准教授 Associate Professor	ファビアン　コティエ FABIEN, Cottier	比較政治学，国際関係論，紛争研究，移民，気候変動，統計モデリング Comparative politics, international relations, conflict studies, migration, climate change, statistical modeling
准教授 Associate Professor	西條　春信 SAIJO, Harunobu	比較政治，歴史的政治経済，権威主義の政治学 Comparative Politics, Historical Political Economy, Authoritarian Politics
助教 Assistant Professor	ミッチェル オースティン マイケル MITCHELL Austin Michael	民主主義と独裁，政府予算と財政，開発の政治経済学，平和と紛争 Democracy and dictatorship, government budgets and finance, political economy of development, peace and conflict

職名 Position	氏　　名 Name	研究内容 Research Theme
助　教 Assistant Professor	小山　達也 KOYAMA, Tatsuya	比較政治学、国際関係論、途上国の政治経済、平和と紛争、内戦論、海洋紛争 Comparative Politics, International Relations, Political Economy of Developing World, Peace and Conflict Studies, Civil Wars, Maritime Conflicts

教育科学専攻 Division of Educational Sciences

【国際教育開発プログラム International Education Development Program】

職名 Position	氏　　名 Name	研究内容 Research Theme
教授 Professor	齊藤　一彦 SAITO, Kazuhiko	体育・スポーツを通じた国際開発，国際比較スポーツ教育 International Development through Sport Education, International Comparison of Sport Education
教授 Professor	佐藤　暢治 SATO, Nobuharu	中国甘粛・青海省のモンゴル系諸言語における民族言語学的研究 Ethno- linguistic studies on the Mongolian languages of Gansu and Qinghai Provinces, China
教授 Professor	清水　欽也 SHIMIZU, Kinya	途上国における理科教育国際協力・科学教育に関する教育研究及びその他教科の授業開発・分析 Science education, principles of science curriculum, and development and analysis of lessons in other subjects
教授 Professor	中矢　礼美 NAKAYA, Ayami	グローバルシティズンシップ教育，平和教育，地域カリキュラム開発，比較国際教育学 Global Citizenship Education, Peace Education, Local Curriculum Development, Comparative and International Education
教授 Professor	日下部　達哉 KUSAKABE, Tatsuya	発展途上国の社会・経済構造と教育との関係を比較の視点からアプローチする研究 Comparative study of relationship between social, economic structure fluctuation and education in developing countries
教授 Professor	牧　貴愛 MAKI, Takayoshi	アジア諸国における教育人材開発（教師教育），比較教育学 Studies on Human Resource Development for Education (teacher education) in Asian countries, Comparative Education
教授 Professor	川合　紀宗 KAWAI, Norimune	特別支援教育，インクルーシブ教育，ソーシャル・インクルージョンの理論，制度及び実践に関する研究 Theories, Systems, and Practices of Special Needs Education, Inclusive Education, and Social Inclusion
准教授 Associate Professor	櫻井　里穂 SAKURAI, Riho	比較国際教育学，多文化共生，D&I，技能実習(育成就労)・特定技能，インクルーシブ教育Comparative and Int'l Education, Intercultural cohesion, D&I, Foreign-technical interns & Specified skilled workers, Inclusive education
准教授 Associate Professor	谷口　京子 TANIGUCHI, Kyoko	低・中所得国（アフリカやアジア地域）における教育開発計画や教育政策に関する研究 Studies on Educational Planning and Education Policy in Low- and Middle-income Countries (Africa and Asia)
准教授 Associate Professor	藤木　大介 FUJIKI, Daisuke	学習科学，認知心理学，知識構成，言語心理学 Learning Science, Cognitive Psychology, Knowledge Construction, Psychology of Language
准教授 Associate Professor	谷田　親彦 YATA, Chikahiko	技術教育，情報教育，教育工学，ICTの活用 Technology education, information education, educational technology, and the use of ICT
准教授 Associate Professor	田北　冬子 TAKITA, Fuyuko	異文化コミュニケーション論，異文化理解，異文化交渉学，英語教育研究 Intercultural Communication Theory, Intercultural Understanding, Cross - Cultural Negotiation, English Education

注）△印は2027年4月入学者の標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので，この教員を指導教員として志願する者は，出願時に教育人文社会科学研究科（国際協力学系支援室）に問い合わせること。
△ marks indicate professors who are scheduled to retire within the standard completion period for those who are enrolled in April 2027. Those who wish to study under the supervision of those professors should contact Graduate School of Education, Humanities and Social Sciences (Support Office for the fields of International Development and Cooperation) beforehand.

注）募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には，教育人文社会科学研究科ホームページに掲載するので，相談前にあらかじめホームページを確認すること。
Note that “List of Members” is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Education, Humanities and Social Sciences. Therefore, please confirm the HP before consulting with a professor.

国際環境リーダー育成特別教育プログラム

背景

近年，地球温暖化，生物多様性の減少，砂漠化の進行，発展途上国の公害問題など，人類の生存基盤にかかわる深刻な地球環境問題に関する広範な知識や解決策に向けた分析力は，国際開発や国際協力のあらゆる分野において必要となる基本的な専門性となりつつあります。こうした専門性を身につける追加的な教育機会を提供するために，広島大学大学院教育人文社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム，政策科学プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム），先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）及び大学院スマートソサイエティ実践科学研究院では，「国際環境リーダー育成特別教育プログラム（GELsプログラム）」を実施します。

目的

GELsプログラムでは，複眼的，国際的視野で国や地域が直面する課題を見出し，戦略的解決策を設計できる環境リーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 持続可能な社会を構築するために必要な，自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え，様々な分野の第一線で活躍する専門家から，学際的知識を得ることができます。
- ✓ 様々な専門や経験を持つ学生と共に学習し，高いコミュニケーションスキルを修得できます。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には，修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの学生であれば，国籍に関わらず本プログラムに登録できます。
登録時期は，4月と10月の年2回となります。

お問い合わせ先
大学院教育人文社会科学研究科
大学院先進理工系科学研究科
大学院スマートソサイエティ実践科学研究院
（国際協力学系支援室（GELsプログラム担当））
E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/gels